

山口情報芸術センター[YCAM] 2018年度事業

2018年4月～2019年3月

新しいコロガル公園からバイオまで— YCAM15年の蓄積が花開く多彩なプログラム

2018年は山口情報芸術センター [YCAM] が開館してから15周年の節目の年に当たります。これを機にメディアテクノロジーと表現にまつわる豊富な知見を活用し、さまざまなイベントを開催してまいります。

2018年度は「コロガル公園 commons」をはじめ、これまでYCAMが展開してきたイベントシリーズの最新版が多数登場するほか、「YCAM爆音映画祭」を過去最大規模で開催。また新たな試みとして、外部からキュレーターを迎えて2つの展覧会を開催します。ほかにも国際的なコラボレーションによる新作ダンス公演、バイオ・テクノロジーの応用可能性を実践的に学ぶ集中ワークショップなど、近年の研究開発の成果が花開くイベントも。そして、2017年からスタートした「YCAMオープンラボ」は、より多角的な視点から、文化施設における「研究」と「開発」の現在を描き出します。

こうしたイベントを通じて、YCAMが掲げる「ともにつくり、ともに学ぶ」という活動理念の実現を目指すとともに、次世代を担う人材の育成を進めていきます。この機会にぜひご参加ください。



山並みの屋根が特徴的なYCAMの外観（撮影：伊奈英次）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



エキソニモ+YCAM 共同企画展 メディアアートの輪廻転生

展覧会

2018年7月21日(土)～10月28日(日)



エキソニモの千房けん輔(左)と赤岩やえ(右)
(Photo by Niko)

「作品の死」から考える、文化継承の新たなかたち

ニューヨークを拠点に活躍するアートユニットのエキソニモを共同キュレーターに迎えて開催する展覧会です。メディアアート作品の新しいエコシステムの提示をテーマに、壊れたメディアアート作品に対してさまざまなアプローチで解体・転生を試みる展示「メディアアートの墓」を軸に、文化をいかに未来に継承し、次なる創造へと発展させていくのか、そのプロセスを思考する機会の創出を目指します。

コロガル公園コモンズ

展覧会

2018年7月21日(土)～10月28日(日)



2012年に開催した「コロガル公園」の様子

社会の共有地＝コモンズとしての コロガル公園シリーズは可能か？

YCAMが2012年から毎年手がけている、多種多様なメディア・テクノロジーを埋め込んだ子ども向けの遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。空間内に設けられた不安定な床面にはスピーカーやマイク、照明など様々なメディア・テクノロジーが埋め込まれており、来場者はそれらを使って新しい遊びのルールを自由に生み出していくことができます。今回は2012年に実施した「コロガル公園」を再現し、アップデートをおこなうことで、これまで続けてきた「コロガル公園シリーズ」を文化として俯瞰する視点を提示します。

イスラエル・ガルバン+ YCAM 新作ダンス公演

公演

2019年2月2日(土)、3日(日)



2018年1月に開催したイスラエル・ガルバンの「オープスタジオ」の様子
(2018年/撮影: 田邊アツシ)

天才フラメンコダンサーと創造する「未来の表現」

スペインを拠点に活躍するダンサーのイスラエル・ガルバンとYCAMのコラボレーションによる新作ダンス作品を発表する公演です。

新作では、スペインの古典舞踊であるフラメンコから新たな魅力を引き出すべく、フラメンコ固有のステップ「サパテアード」をはじめとするフラメンコの要素に対して、人工知能(AI)などの最新のテクノロジーを積極的に導入。天才の名を欲しいままにしてきたガルバンとYCAMの2年に及ぶ実験によって、人間とコンピューター、そして伝統と革新が融合した、これまでにない身体表現が生まれます。

YCAM InterLab Camp vol.3 パーソナル・バイオテクノロジー

イベント

2019年3月1日(金)~3日(日)



YCAMバイオリサーチのイメージビジュアル
(Photo by Gottingham)

身近になるバイオアート、デザイン、日常への架け橋

第一線で活躍する技術者や研究者を迎え、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズ。第3弾となる今回は「パーソナル・バイオテクノロジー」をテーマに開催します。

近年、食や医療など幅広い分野でバイオテクノロジーの応用が進んでおり、とくにDNA解析やゲノム編集などの高度なバイオテクノロジーを利用するためのコストが低下し、専門家でない、個人がバイオテクノロジーに触れる機会が増えています。今回の集中ワークショップでは、ますます身近になるバイオテクノロジーについて、必要となるツールやテクニックの共有、コミュニティの発展を考えていきます。

三宅唱+YCAM 新作インスタレーション展 ワールドツアー

展覧会

2018年4月21日(土)～5月27日(日)



「ワールドツアー」メインビジュアル

映画は世界に宿る

映画監督の三宅唱とYCAMの共同制作による新作インスタレーションを発表する展覧会です。映画製作プロジェクト「YCAM Film Factory vol.4」の一環として開催します。

YCAMは2017年から三宅とともに、今日における「映画」というメディアの本質を再考し、今後の可能性を模索することをテーマに、長期に渡るコラボレーションをおこなっているながら新作長編劇映画を製作してきました。この展覧会ではこの過程から生まれたインスタレーション作品「ワールドツアー」を発表します。

展覧会

マーク・テ+YCAM 共同企画展

2018年12月15日(土)～2019年3月3日(日)

アジアのアーティストと共に、 私たちの暮らす日本を読み解き直す

マレーシアを拠点に活躍する演出家のマーク・テを共同キュレーターに迎え開催する展覧会です。国際交流基金アジアセンターのCondition Reportの一環として、共同主催のもと開催します。

この展覧会では、明治維新の勃興から150年の節目を迎える山口の歴史・文化を起点に、東南アジアと日本のアーティスト達がそれぞれの土地を「歩く」ことにより獲得してきた個人的体験や視点を現代日本の都市や地域社会に逆照射することで新たな「地図」を描き出します。展示では、アーティスト自身の言葉によって語られるレクチャー・パフォーマンスを軸にしながら、作品展示や関連ツアーなども開催予定です。

YCAM オープンラボ2018

2018年10月6日(土)～8日(月)



YCAMオープンラボ2017でのトークセッション
(2017年/撮影: 古屋和臣)

YCAMから生まれる「つくる」「まなぶ」「つなぐ」

シンポジウム、ワークショップ、展覧会、パフォーマンス、映画上映などを通じて、YCAMの研究開発活動を体験できる複合型のイベントです。

先駆的な取り組みをおこなっている国内外の「ラボ」からゲストを招聘し、過去の文化を継承し、発展させ、未来へとつなげていく「創造の連鎖」の在り方を探ることをテーマとしたシンポジウムを開催するほか、それぞれのラボの取り組みを紹介する展示やワークショップなども開催。開館から15年を迎えるYCAMの理念である「ともにつくり、ともにまなぶ」ことの可能性について考えます。

グループ・チ・フーア ダンス公演 イノア

2018年9月1日(土)、2日(日)



グループ・チ・フーア「イノア」

世界を震撼させた革命的ヒップホップ さらなるステージへ

ブラジルを拠点に活動するダンスカンパニーのグループ・チ・フーアによるダンス作品を紹介する公演です。ストリートで生まれたヒップホップを劇場で上演されるパフォーミングアーツ作品へと昇華させ、世界的に高い評価を受けるグループ・チ・フーアが、2009年に上演したダンス作品「H3」以来、9年ぶりにYCAMに登場。数年ぶりの最新作となる本作は、主宰の振付家ブルーノ・ベルトラオの独特な時間/空間感覚と、ワイルドで精緻なストリートダンスのテクニクを持ったダンサーたちの身体が織りなす異次元のダンス作品です。

YCAM スポーツハッカソン 2018

2018年5月4日(金)～5月6日(日)



「YCAMスポーツハッカソン2017」にてデベロッパレイをおこなう参加者たち
(2017年/撮影:山中慎太郎 [Qsyum!])

「デベロッパレイ」で運動会をハックせよ

メディア・テクノロジーを駆使して新しいスポーツのアイデアを実現する、3日間のスポーツクリエイション合宿です。

このイベントでは、開発(デベロッパ)と実践(プレイ)を繰り返す「デベロッパレイ」と呼ばれる制作手法を中心に、2日間に渡って運動会競技を開発し、最終日には開発した競技を楽しむ運動会を開催します。競技の開発に使用するツールは運動会でおなじみのもののほかに、YCAMが開発したハイテクなツールも登場。さらに今回は特別に3組のアーティストが参加し、他の参加者とともに運動会競技の開発に挑みます。

第3回 未来の山口の運動会

2018年5月6日(日)



「第二回 未来の山口の運動会」の様子 (2017年/撮影:山中慎太郎 [Qsyum!])

全種目が世界初実施の超・最先端の運動会!

「YCAMスポーツハッカソン2018」で生み出されたスポーツを体験する運動会形式のイベントです。

3回目の開催となる今回も、さまざまなメディア・テクノロジーやアイデアが詰め込まれた「未来の運動会」の種目が多数登場。参加者はチームに分かれ、勝敗を競っていきます。優勝チームには賞品もあるかも? 大人も子どもも、お年寄りも、学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う未来の運動会で一緒に気持ちの良い汗をかきましょう。

不思議の国のアリス

2018年8月8日(水)、9日(木)



「不思議の国のアリス」

「不思議の国のアリス」が 豪華キャストによってダンス作品に！

ルイス・キャロルの童話「不思議の国のアリス」を原作とした、親子で楽しめるダンス作品を上演する公演です。演出はダンサー／振付家である森山開次、テキストは劇団口口を主宰する脚本家／演出家の三浦直之、衣裳はコスチューム・アーティストのひびのこづえ、音楽には作曲家の松本淳一がそれぞれ手がけます。出演者も、オーディションで抜擢された17歳の新人女優・まりあの他に、辻本知彦、島地保武、下司尚実、引間文佳といった一線級のダンサー／俳優が登場。様々な分野からスペシャリストが集結した、いままでにない「アリス」の世界が味わえます。

地点 演劇公演

忘れる日本人

2019年2月16日(土)、17日(日)



地点「忘れる日本人」

国際的にも注目を集める地点の山口初公演

京都を拠点に活動する劇団・地点の演劇作品を上演する公演です。

本作は、山口県出身の民俗学者・宮本常一の著書『忘れられた日本人』と、フランスの小説家／批評家のモーリス・ブランショの小説『期待 忘却』をモチーフに、いま最も注目を集める劇作家・松原俊太郎が戯曲を手掛け、地点を主宰する演出家・三浦基が大胆な演出によって作り出した演劇作品です。2017年に神奈川芸術劇場 (KAAT) での初演が大きな話題を集めた本作の公演が、地点の山口初公演となります。

未来の山口の授業 at YCAM

2018年6月～2019年1月



DNA解析技術を使い、オリジナルの植物図鑑をつくるワークショップ「森のDNA」
(2017年/撮影：田邊アツシ)

感覚アスレチック：2018年6月～7月

コトバ身体：2018年8月～9月

森のDNA：2018年10月

COOKHACK：2018年12月～2019年1月

※詳細な開催日程はウェブサイトやフライヤーをご確認ください

メディア・テクノロジーの特性を体感的に学ぶ

YCAMがこれまでに開発した教育プログラムに触れるイベントシリーズです。

YCAMの教育プログラムはいずれも「社会」「身体」「メディア・テクノロジー」との関わり方をテーマに、単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、新しい価値観を通して物事を捉える「想像力/創造力」の向上にもつながるよう設計されています。今年度は、その中から「感覚アスレチック」「コトバ身体」「森のDNA図鑑」「COOKHACK」の4種類のワークショップを2ヶ月ごとに実施します。

未来の山口の授業 at School

2018年5月～7月



山口市立平川小学校で実施した「スポーツハッカソン for Kids」の様子
(2017年/撮影：田邊アツシ)

地域の小学校とともに新たな学びの機会を創造する

YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小学校で実施するアウトリーチプログラムです。2018年度も2017年度に引き続き、「スポーツハッカソン for Kids」を市内の小学校2校で実施する予定です。

映画

YCAM 爆音映画祭 2018

2018年8月18日(土)～26日(日)



2016年に開催した「YCAM爆音映画祭2016」でのライブパフォーマンスの様子

日本最強の爆音映画祭、今年も出現！

繊細な大音響で映画を体感することで、これまでにない映画体験を創造する「爆音映画祭」が、今年もYCAMにやってきます。YCAMが誇る充実の音響環境を十全に使い、今回も往年の名作から話題の新作まで、幅広いラインナップを爆音でお届けします。

映画

真夏の夜の星空上映会

2018年8月10日(金)～12日(日)



YCAM夏の風物詩、今年も開催！

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。今年も幅広いみなさまに楽しんでいただける作品の上映をおこなうほか、YCAMで生まれた映画の上映も予定しています。

映画

YCAM シネマ

週末を中心に開催



ゲストを招いてのトークイベントの様子(2017年/撮影:谷 康弘)

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画作品を紹介する上映会を週末を中心に開催しています。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、ことしも個展から最新作まで幅広い時代の、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。